

テレビ信号の CN 測定リコールファイルについて

(株) アドバンテスト

本リコールファイルは日本の TV チャンネルで Power 測定 (C) と ノイズ測定 (N) が可能です。
測定ファイルをリコールした後、チャンネルを設定するだけで、すぐに C と N が測定できます。
Power 測定とノイズ測定は、チャンネル 1 とチャンネル 2 にありますので、その測定結果から
Carrier (Power) - Noise = CN (dB) と計算します。
(入力は分配器を使い接続するか、またはつなぎ換えをします)

1. リコール可能な本体は U3800 シリーズです。

ただし、入力インピーダンスは 75Ω に設定してありますので、外部に 75Ω - 50Ω 変換器を
付けるか、または入力インピーダンス 50Ω でご使用の場合は、測定ファイルをリコール後
スペアナのメニューで入力インピーダンスを 50Ω に設定してください。

2. 測定できる変調方式

		ATT (dB) :	PreAmp:
DTTV (地上デジタルテレビ)	: OFDM	0	OFF
CATV (ケーブルテレビ)	: 64QAM	0	OFF
BS, CS (衛星放送の IF)	: 8PSK (広帯域)	0	ON
CS (CS 衛星 IF)	: QPSK (狭帯域)	0	ON

注意 1) ATT は 0 dB に設定してあります。レベルが大きい場合は、手動にて 10dB 等に設定
して下さい。なお、DTTV と CATV の Power 測定は、プリアンプが OFF になっています。
レベルが低い場合、必要に応じプリアンプ ON にてご使用下さい。

注意 2) 入力レベルに応じてリファレンス・レベルを調整して下さい。パワー測定では波形
が画面のトップ 1 ~ 2 目あたりの位置へ、ノイズ測定ではノイズ波形が本機ノイズ
レベルより大きくなる (上側) になるように調整して下さい。(注 1 を参照)

補足) 設定を修正後、リコールファイルの上書き保存を行いますと、次回から修正された
設定条件でリコールされます。

3. 測定ファイル構成

フォルダ DTV_CN_Measurement の下位のフォルダ adv%dat をすべて USB にコピーします。

1_DTTV_Power_Noise.dat	: 地上 DTTV の Power, Noise 測定
2_CATV_Power_Noise.dat	: CATV の Power, Noise 測定
3_BS_IF_WB_Power_Noise.dat	: BS_IF の Power, Noise 測定 (広帯域)
4_CS_IF_WB_Power_Noise.dat	: CS_IF の Power, Noise 測定 (広帯域)
5_CS_IF_NB_Power_Noise.dat	: CS_IF の Power, Noise 測定 (狭帯域)

以上